

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コアヴィレッジ芝公園		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 24日		～ 2026年 3月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	59名	(回答者数) 24名
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日		～ 2026年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	STEM教育や脳バランス（お子様の認知能力を継続して量り支援に活かすアプリ）等のICT教育を取り入れている。	STEM教育や脳バランスを実施することで、問題解決能力の向上、IT・論理的思考力の育成、主体性と創造性、認知能力を定量化し支援に活かすことを目指しています。	引き続きSTEM教育や脳バランスを実施しつつ、アップデート等あれば積極的に取り入れていく。
2	プログラミングに触れることができる。	タブレットで簡単なコードを組んだり、小さいロボットを操縦している。どのお子様もプログラミングに興味を持てるよう実施し、物事を筋道立てて考え、論理的に解決方法を組み立てられる力を養えるよう工夫して実施している。	引き続きプログラミングに取り組み、物事を筋道立てて考え、論理的に解決方法を組み立てられる力を養えるよう工夫して実施していく。
3	小集団での療育を実施し、手厚いサポートの中で他児とのコミュニケーションをすることができる。また教室のスペースが広いため、大きく身体を動かすなど、運動などに取り組むことができる。	療育時間を固定し、その時間内で2～5名程度の小集団で療育を実施している。小集団で活動を実施することで、他児とのコミュニケーションの機会が増え、練習することができる。また、教室のスペースが広いため、身体を大きく動かす運動も行っており、ガイドラインに定められている5療育を網羅するように活動を行うことができる。	引き続き小集団での療育を実施し、コミュニケーションや社会性、認知や運動など、活動内容を工夫しながらガイドラインに沿った支援が実施できるよう取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	基本的に小集団の療育を実施しているため、個別対応が必要なお子様に対して受け入れが難しい場合がある。	原則小集団の療育を実施しているが、特性に応じて個別対応を行っていることがある。一方で、個別に対応するニーズのお子様もあり、その場合指導員が足りないことがある。	個別の対応が必要なお子様に関しては、「適切な療育を実施する上で個別対応が必要であること」「指導員が充足している日程をご案内」している。また、個別対応を継続するだけでなく、お子様の様子を見て小集団の療育に移行できるよう支援内容を工夫して行っていく。
2	地域交流の機会がない。	地域の行事やボランティア等の受け入れを行っていない。	地域の行事や地域の施設を使う、ボランティア等の受け入れを行うなど、地域と関わる機会を設けていきたい。
3	第三者による外部評価が行われていない。	開所して間もない事業所であるため、現在第三者による外部評価を取り入れていない。	事業所を運営する上で第三者の外部評価は重要だと考える。現在は依頼できる外部の場所がないため、今後外部評価をしていただける評価機関を探し依頼を検討していく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				2026年 3月 31日	
公表		公表日				2026年 3月 31日	
環境・体制整備	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	指導員からの意見	課題や改善すべき点・工夫点
		1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	1	0
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別対応の児童が1人の時は適切であると思うが、2人以上いる時は全体的に慌てて対応することが多いと感じる。 ・通常時は対応できているが、職員の欠勤時などには人手不足を感じる場面があるため。 ・10名に対して基礎人員2名、専門的支援の職員がいるため、規定通りの配置である。 ・職員がお休みの際、見守りや活動の安全面について少し心配に感じることがある。 ・職員配置数が少ないと感じる日が多い。 	法令上の職員数（利用者10名に対し基礎人員2名、11名以上で基礎人員3名）は配置しておりますが、個別対応や職員の急な欠勤等で人員不足を感じることもあるかと思えます。見守りや活動の安全面については、当日出勤の職員で話し合い、その上でフォーメーションを考えるなどし、今一度安全面に配慮して運営していく。
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・明確な仕切りがないため、初めて利用する子は戸惑うことが多いと思う。 ・段差がなく、バリアフリーに配慮された環境になっているため。 ・視覚的な支援と共に、段差がほとんどないなど環境上の配慮がされている。 ・パーティションで空間を区切り、こどもが分かりやすい環境づくりを行っている。 ・構造化しやすい環境になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・明確な仕切りがあるわけではないが、引き続きパーティションでブースを区切ったり、視覚的な支援（イラストや写真等）を用いてこどもにわかりやすく構造化していく。 ・情報伝達については、指導員が見える場所にその日のこどもの共有事項を明記し、送迎時にどの職員でも保護者にお伝えできるよう工夫をしている。
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・綺麗であると思う。また、活動に合わせてパーティションなどを使っている為、活動に合わせた空間づくりはできていると思う。 ・日々清掃が行われており、パーティションを活用して活動に応じた空間づくりがされているため。 ・毎日掃除を行い清潔を心掛けている。また、子どもたちの活動に合わせてパーティションで活動場所を区切るなどしている。 ・毎日掃除を行い、清潔な環境づくりに努めている。 ・清潔で心地いい空間になっている。 	引き続きこどもや保護者、職員が過ごしやすい環境であるよう毎日の清掃を丁寧に行う。
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士で共有し、個別の場所を必要としている児童に対して用意することがある。 ・個別の部屋はないが、仕切りを活用することで個別の空間を作る工夫がされているため。 ・個別の部屋はないが、パーティションで区切ってブースのような形で使用はできる。 ・個別で話す際にはスペースを設けるなど、配慮している。 ・個別の部屋や場所がなく作る必要があるため。 	個室はないが、パーティションで区切ってブースを作ったり、職員室のロールカーテンを下ろして個室のようにしている。引き続き必要に応じてパーティションやロールカーテンを下ろして個室のようにしていく。
6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・活動後に振り返りを行い、その日の児童の様子を共有し、今後のことについて話し合う時間がある。 ・終礼時に利用児に関する振り返りを職員全体で行っているため。 ・教室会議で業務に関して目標設定や振り返りを行っている。 ・話し合いや振り返りを行う機会を設けている。 ・仮説、検証、見直しといった流れができていく。 	終礼や教室会議、ケース会議等を実施し、広く職員が参画できるよう工夫をしている。また、随時こどもの目標設定と振り返りを行っている。

業務改善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> アンケートを実施し、改善できるところを検討している。 保護者の意向を把握する機会が設けられており、今後も業務改善につなげていきたいと考えているため。 ご意見があった場合は随時業務改善につなげている。 自身の行動や全体の動きを振り返り、目標を立てる機会がある。 保護者の意向を把握する機会は多くあると感じる。 	保護者の満足度、信頼度を図るアンケートを実施し、保護者の意見を基に業務改善につなげている。また、評価表のみでなく、送迎時等にいただいたご意見も業務改善につなげている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	1	0	<ul style="list-style-type: none"> 業務改善に関して、職員の意見を把握する機会はあまりない。 面談等を通して、職員が意見を伝える機会が設けられていると感じるため。 定期的に管理者が職員と面談をし、職員の意見や意向を聞き、業務改善につながるよう尽力している。 定期的に面談があり、意見を伝える機会が設けられている。 	管理者が定期的に面談をし、その内容を業務改善につなげられるようにしている。全職員で考え改善につなげた方が良いことについては、教室会議等で協議をしている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	0	1	4	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価については、会議に参加している職員が把握していると思うが、自身では詳細を把握していないため。 現在第三者による外部評価は行っていない。 外部評価の実施状況については把握していない。 	現在第三者による外部評価は行っていないため、今後は取り入れ業務改善につなげていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな内容の研修を行っている。 入社したばかりの職員向けの研修が実施されているため。 事業所内研修や外部講師をお呼びしての研修を年に複数回開催している。 多くの研修の機会がある。 研修機会が確保されている。 	支援についての研修や法令で定められている研修を年間計画を立て実施している。また、外部講師をお呼びして研修を実施することもある。研修に当日参加できなかった職員も後日受けられるように工夫をしている。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の意見を聞き、その中で放課後等デイサービスにおいて何ができるのか職員同士で話し合い、支援プログラムを作成している。 月ごとのイベントや〇〇週間などの活動内容がカレンダー等で作成・共有されているため。 HPに支援プログラムについて公表している。 担当者が契約時や見学・体験の際にパンフレットを配布し、説明を行っている。 児童に合った支援内容が生まれ、また公開されている。 	月末に月のプログラムを作成し、アプリや送迎時に確認できるよう掲示をしている。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の意見を聞き、その中で放課後等デイサービスにおいて何ができるのか職員同士で話し合い、支援プログラムを作成している。 保護者のニーズや課題、指導員によるアセスメント内容を踏まえて計画が作成されているため。 支援中のアセスメント、モニタリング、ケース会議を行い、個別支援計画書を作成している。 面談や聞き取りを行い、子どもや保護者の状況を踏まえて計画を作成している。 全職員がアセスメント・計画に関する会議に参加し意見を出し合っている。 	普段の活動でアセスメントを行い、個別支援計画書に関しては保護者とのモニタリング面談、ケース会議で職員が会議をした上で作成している。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の意見を聞き、その中で放課後等デイサービスにおいて何ができるのか職員同士で話し合い、支援プログラムを作成している。 出勤している職員で検討は行われているが、当日不在の職員への共有が十分ではないと感じるため。 個別支援計画書更新時、毎日の終礼時に支援について検討を行っている。 責任者だけでなく職員も関わり、話し合いや意見交換を行った上で計画を作成・更新している。 計画作成時には全職員が意見を出し合い、共通理解をもち計画作成に至っている。 	個別支援計画書を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、ケース会議を行い、職員が共通理解の下で検討を行っている。

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を行う際の目標を明確にして行い、振り返りでもそれに沿って振り返っている。 ・計画内容を踏まえた支援が行われていると感じるため。 ・ケース会議後、確定後は共有をして支援を行っている。 ・話し合いを通して計画を共有し、活動後には計画に基づいた支援の振り返りを記録している。 ・計画を閲覧したうえで活動内容が組まれている。 	個別支援計画書を更新した際には職員に伝え、計画に沿った支援を行うよう、個別支援計画書を確認しながら活動内容を定めている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ツールを使っているが、それによる情報を使えていないと思う。 ・日々の行動観察に加え、WISC等の検査結果も個人ファイルで確認できるようになっている。 ・フォーマルな検査結果をいただいた場合はそれも参考にし、脳バランサーや行動観察などで適応行動の状況を確認している。 ・脳バランサー等のツールや日々の観察を通して、こどもの状況を把握している。 ・標準化されたツールは用いていない。 	病院等で受けられた検査結果や、脳バランサーの結果、日々の行動観察等のアセスメントを行っている。フォーマルなアセスメントは事業所では取れないが、インフォーマルなアセスメントは引き続き取っていく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような支援が良いのか決められるところもあるが、どのような支援がいいのか模索しているところもある。 ・こどもの状況に応じた支援内容が設定され、計画に基づいた支援が行われていると感じている。 ・必要な項目を設定し、具体的な支援内容を設定している。 ・必要に応じて支援を行っている。 ・ガイドラインに沿って作成されている。 	支援に関して模索している場合は、周囲の職員と相談しあいながらより良い支援を提供できるように改善していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース会議を開き、意見の交換を行っている。 ・イベントの立案は職員全体で行っているが、日々の活動内容は各職員が考えることもあるため。 ・担当の班のプログラムを考えることはあるが、一つのプログラムをチームで立案することはあまりない。 ・活動プログラムは個人で立案することが多いが、相談して決めることもある。 ・チームで話し合いを行っている。 	日々の活動プログラムに関しては担当が大きなプログラムの立案を行っているため、今後はよりチームで立案できるよう、朝礼時等にプログラム内容等について共有する時間を設け改善を図る。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を1人の職員がすべて担当しないように工夫し、どのような活動を行うか事前に確認している。 ・活動内容が固定化しないよう、様々な活動を取り入れる工夫がされている。 ・プログラミング、脳バランサー、運動、工作など、様々なプログラミングを実施している。 ・季節の活動を取り入れながら、様々な活動を行っている。 ・活動内容のバリエーションは多いように感じる。 	30分×2回（計1時間）の活動であり、活動が固定化しないように相談しながら実施している。また、工作や運動、STEM教育、脳バランサーなどを実施し、ICTも取り入れている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別活動を行えることもあるが、子どもに対する職員の人数が足りないと思う。 ・こどもの状況に応じて個別活動と集団活動を行い、状況に合わせた支援が行われている。 ・お子さんに応じて個別、小集団を適宜組み合わせ支援を行っている。 ・必要に応じて個別活動を行い、主に集団活動を中心に支援を行っている。 ・運営の都合上個別活動になることがないため。 	基本的には小集団の療育を提供する事業所であるため、個別療育を推奨はしていない。一方で、個別活動が必要な際には、保護者に説明をした上でマンツーマンで療育を実施している。また、こどもの様子を見て少しずつ小集団の活動にも参加できるよう支援している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に活動内容や役割などを確認している。 ・支援内容について共有されることもあるが、日々の活動は各職員が考える場合もあり、必ず打合せが行われているとは言いがたい。 ・朝礼は行いが、支援の内容や役割分担に関しては共有する回数も弱いかもしれない。 ・支援前に打ち合わせを行い、運動や机上活動の内容について話し合いながら支援を行っている。 ・打ち合わせの機会が毎日ある。 	改善点としては、活動内容の共有が直前になることもあり、「〇時までには共有する」というような工夫を行いながら、チームで連携して支援を行う必要があると考える。

21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを行い、共有をしている。 ・支援終了後に振り返りや共有は行っているが、必ず打合せを行っているとは言い切れないため。 ・支援終了後は職員間で振り返りを行い気づいた点を共有している。また、利用者共有チャットで利用だったお子様、HUG等できた連絡内容を共有している。 ・療育中の様子や余暇時間の様子を情報共有を行なっている。 ・支援終了後に必ず振り返りが行われている。 	面談や会議等ある際は終礼での振り返りが短くなることもある。現在はGoogleチャットを使用し、職員共有や利用者共有を行っているが、終礼で話しきれなかったことは次の朝礼で共有するなど、共有できるよう改善している。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・記録を取っているが、支援の検証・改善につながっているかは不明。 ・支援記録は作成しているが、記録を活用した支援の検証や改善については十分に把握できていないため。 ・短期目標の評価を行い、個別支援計画書更新の際に支援の検証・改善につなげている。 ・日々の支援について記録を行い、活動後に様子を共有している。 ・記録は状況が分かるよう詳細に書かれ、次につながるようになっている。 	支援記録に関しては、活動の内容や目的、子どもの様子がわかるように記録を行っている。また、個別支援計画書の短期目標の評価も行っている。今後は全ての職員がその記録を十分に把握できるよう改善を行う。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・6か月ごとにモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。 ・定期的にモニタリングを行い、必要に応じて計画の見直しが行われている。 ・半年に一度モニタリングを行い、適切な見直しを行っている。 ・半年ごとに面談や振り返りを行い、計画の見直しを行っている。 ・定期的に行われ、支援内容の見直しが行われている。 	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画書の見直し、保護者と話し合った上で、子どもにとって必要であろう課題に対しての目標立てを行っている。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動（①自立支援と日常生活の充実、②創作活動、③地域交流、④余暇の提供）」を複数組み合わせる支援を行っているか。	4	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流の回数は少ないが、幅広く活動できていると思う。 ・自立支援や創作活動、余暇活動は行っているが、地域交流については十分に実施されているか判断が難しいため。 ・地域交流はできていないが、それ以外は行っている。 ・様々な活動を組み合わせる支援を行っている。 ・③、④については不明のため。 	現在は「地域交流」に関しては行うことができていない。ボランティア団体等との接点を持ち、地域の方との交流も行っていく。
25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービスの中で出来ることと、子どものやりたいことを話し合い、調整しながら支援を行っている。 ・子どもが自分で選択できる場面を設けるなど、自己決定を促す支援が行われている。 ・子どもが迷ったり困ったりした際、「どうする?」「どうしたい?」という質問をして、自己決定を促すよう促している。 ・イラストや写真を用いて、子どもが選択できるように支援している。 ・支援内容を自己決定する機会が提供されている。 	子どもに合わせてイラストや写真も使用し自己選択を促したり、指導員や他児と相談した上で決定するよう支援を行っている。今後も、自己選択・自己決定をする力を育てるような支援を行っていく。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援専門員が来所することはあるが、サービス担当者会議の実施状況については把握できていないため。 ・関係機関連携を行い、教室と学校の様子を共有している。 ・会議への参加状況については詳細を把握していない。 	サービス担当者会議の機会はまだないが、学校との関係機関連携は頻繁に行っている。また、児童発達支援管理責任者、職員2名で同行し、子どもの様子を理解している者が参画している。
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・学校との連携は行われていると感じるが、その他の関係機関との連携体制については十分に整っているか判断が難しいため。 ・障害福祉課や相談支援事業所とのやり取りをしながら支援を行っている。 ・学校や相談支援員などの関係機関と連携しながら支援を行っている。 ・連携体制が整っている。 	現状は教育等の関係機関との連携が多いが、必要に応じて保健、医療、障害福祉、保育等と連携して支援を行う体制は整っている。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・学校とのやり取りはあるが、情報共有は主に保護者を通して行われることが多いと感じるため。 ・保護者からの情報共有はあるが、学校からの情報共有はない。 ・行事予定や下校時刻を共有し、子どもに対応できるよう人員配置を行っている。 ・必要に応じ行っている。 	学校の予定に関しては、保護者経由でお知らせいただいている。また、送迎時の対応やトラブル発生時の連絡に関しては、アプリや電話等で連絡をしている。

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	4	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援事業所とは情報共有を行っている。 ・一部のこどもについては情報共有があるが、すべてのケースで行われているかは把握していないため。 ・同事業所の児童発達支援との情報共有は行っているが、他教室や保育園との情報共有は少ない。 ・就学前の施設との情報共有については、詳細を把握していない。 ・当事業所以外の機関との情報共有機会はほぼないように思う。 	就学前に利用していた保育所等と情報共有を行うことは少ないが、必要である場合は情報共有を行う体制は整っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	0	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・学校を卒業する年齢の利用児がいないため、情報提供の実施状況については把握していない。 ・現在は18歳以上の方がいらっしゃらないため、今後そのようなことがあった場合は支援内容等の情報を提供を行う。 ・卒業後の移行時の情報提供については、詳細を把握していない。 ・学校を卒業した児童がまだいないため。 	現在は18歳で放課後等デイサービスから障害福祉サービスに移行する方がいらっしゃらないため、今後そのような場合は支援内容等の情報を提供していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	0	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に参加している。 ・児童発達支援センターとの連携や助言・研修の機会については把握していないため。 ・現在は児童発達支援センターとの連携がないため、今後は機会を設けていく。 ・地域の児童発達支援センターとの連携については把握していない。 ・研修に参加している。 	児童発達支援センターで行われる研修や見学会等に年2回程度参加している。スーパーバイズ等の機会はないため、そのようなサポートがあるか調べ、必要であれば受けたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	0	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブや児童館、地域のこどもとの交流の機会は設けられていないと感じるため。 ・学童や児童館、地域の子どもと活動する機会はないが、今後はそういった機会を設けていく。 ・少ないと感じる。 ・そのような機会は現状ない。 	地域の他のこどもと活動する機会はないため、必要に応じて活動する機会を設定していきたい。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	1	0	2	4	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会への参加状況については把握していないため。 ・参加したことがないため、今後は積極的に参加したい。 ・自立支援協議会等への参加状況は詳細を把握していない。 	自立支援協議会に参加したことはないため、今後は積極的に参加をしていきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時に放課後等デイサービス利用時の児童の様子を伝え、家庭や学校での児童の様子を聞いている。 ・保護者へその日の活動内容やこどもの様子を伝えるなど、日頃から情報共有を行っている。 ・送迎時やアプリ、電話等のやりとりで子ども状況や様子をお伝えし、アドバイスや相談を行っている。また、保護者の話を聞いて共通理解を持って支援をしている。 ・お迎え時や面談時にこどもの状況を保護者と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解を図っている。 ・保護者と話し合う機会は多い。 	送迎時、アプリ、電話、面談(必要に応じて)等で日頃からこどもの状況を保護者に伝えている。その中で心配事や不安なことなどを伺いすることもあるため、保護者の気持ちに寄り添いながら、発達の状況や課題について共通理解を持って支援をしていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングを行ったが、回数が少ない状態である。 ・ペアレントトレーニング等の家族支援に関する情報提供や参加の機会を設けている。 ・本年度は1度実施したため、来年度も計画的に実施していきたい。 ・使用しているツール(脳バランス等)の説明会が開かれた。 ・ペアレントトレーニングや勉強会など研修機会が作られている。 	今年度は一回ペアレントトレーニングを実施したが、継続した実施はできていない。そのため、来年度以降は複数回開催するなど、より多くの保護者が参加できる研修の機会を提供し、情報提供等も行っていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・見学や契約時に説明が行われており、質問があればその都度説明が行われているため。 ・ご契約時、ご利用時に都度ご説明している。 ・担当者が行なっている。 ・契約時に毎回行われている。 	契約時、ご質問があった際には適宜丁寧にご説明を行っている。

37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングで次回の個別支援計画書作成する時に、意向を確認している。 ・モニタリング時に保護者や家族の意向は確認しているが、子ども本人と直接意向を確認する機会は少ないため。 ・モニタリングで保護者の意向を伺っている。 ・面談を行い、保護者の意向を確認して計画を作成している。 ・完成後に保護者に意向を確認している。 	保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益を考慮して個別支援計画書を作成している。また、面談等実施し、意向を確認する機会を随時設けている。
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容を確認してもらってから、サインをいただいている。 ・計画内容を説明し、保護者から同意を得ていると感じるため。 ・個別支援計画書作成後、保護者にご覧いただき同意をいただいている。 ・計画を提示し、保護者に読んでもらった上で同意を得ている。 ・支援内容の説明機会は少ないが、確認してもらい同意は得ている。 	個別支援計画書作成後、保護者に確認していただき、同意を得られれば電子サインを頂戴している。引き続き、保護者に説明をし、同意を得ていく。
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時などに悩みを聞き、必要であれば面談の案内をしている。 ・家族からの相談に対して、必要に応じて助言や支援を行っていると感じるため。 ・保護者からの要望があればお時間を取り、それ以外にも送迎時に行っている。 ・必要に応じて、行っている。 ・保護者の希望に応じ相談機会が設けられている。 	送迎時にお話をお伺いしたり、別途面談を実施している。引き続き、保護者からの相談に応じ、またこちらからもお声がけし、早期にご不安などを取り除けるようにする。
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	1	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会は、保護者のニーズがあるため開催出来たら良いと思う。 ・保護者同士やきょうだい同士の交流機会については把握していないため。 ・現在はどちらも未実施。 ・現在は機会が設けられていない。 ・保護者会にあたるものが設けられている。 	保護者同士での交流、きょうだい同士の交流の機会はないため、今後検討していく。
41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡事項は即座に返すことを意識し、苦情などがあつた時には迅速に対応している。 ・苦情対応の担当者や連絡先が入口付近に掲示されており、相談体制は整備されていると感じるが、迅速かつ適切に対応されているかまでは把握できていない。 ・障害福祉課に確認しながら教室での対応を会社として判断し迅速に対応している。 ・担当者が状況や今後の対応を保護者や職員間と共有している。 ・苦情対応の体制は整備されており運営されているが、子どもや保護者への周知については不明なため。 	子どもや保護者からの苦情や申し出については、港区の障害福祉課、弊社代表を含めた職員で検討し、迅速かつ適切に対応をしている。また、苦情申し立て先に関してはご契約時にご説明をしているため、周知している。
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントで行ったことをインスタで発信することがある。 ・HUGや掲示物などを活用し、活動内容や情報発信が行われていると感じるため。 ・Instagramで記事の発信、HUGにて月の予定などを発信している。 ・SNS（Instagram）を活用し、活動の様子や行事等について情報発信を行っている。 ・いずれの発信もある。 	InstagramやHPなどで療育に関する知識を発信したり、アプリで活動概要やイベントなどのお知らせを発信している。また、子どもも見られるよう教室内にチラシの掲示も行っている。
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個人個人では留意していると思うが、組織的な体制は不十分であると思う。 ・個人情報の取り扱いには十分配慮されていると感じるため。 ・キャビネットに個人情報をしまい管理している。 ・個人情報の管理に努めているが、保管方法について改善の余地があると感じる。 	個人情報に関しては、キャビネットに収納している。保管方法については職員に周知し、個人情報の書かれているものはキャビネットに入れることを徹底していく。
44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・写真やカードでわかるように工夫している。 ・全保護者に対してその日の活動内容を共有するなど、情報伝達への配慮が行われていると感じるため。 ・子どもの特性について伝わるようにお話ししたり、視覚的支援を行いコミュニケーションを取っている。 ・イラストや写真などを用いて伝えるなどの配慮を行っている。 ・子どもや保護者に応じた配慮がなされている。 	意思疎通や情報伝達に関しては、写真やカードで理解ができるよう工夫をしたり、ジェスチャーなども用いてコミュニケーションを行っている。引き続き、配慮をしながら支援していく。

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	0	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との交流や地域交流の機会は設けられていないと感じるため。 ・地域住民を招待したことはない。 ・機会が少ないと感じる。 ・そのような機会は現状ない。 	地域住民を事業所の行事に招待する等はしたくないため、今後はそういった行事も検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	3	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルがあるが、訓練は行われていない。 ・マニュアルの周知は一部行われているが、発生を想定した訓練の実施状況については十分に把握できていないため。 ・マニュアルの策定、職員に周知はしているが、訓練は教室内に限って行っている。 ・訓練は十分ではない。 ・行っている。 	各マニュアルに関しては整備しており、感染症対応に関しては年一回訓練も実施している。一方で訓練実施については家族等に周知をすることが薄かったため、今後は実施前・実施後に周知を徹底していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	1	2	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・BCPは作られているが、訓練は行っていない。 ・非常災害に備えた定期的な訓練は行われていないと感じるため。 ・年2回避難訓練を行っているが、教室に限る。 ・非常災害の発生に備え、非常用備品の準備を行っている。 ・訓練は行われていないように思う。 	BCPは策定しており、年一回研修も実施している。避難、救出その他必要な訓練は適宜行っている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・てんかん発作の確認は行っている。 ・こどもの服薬状況や健康状態は、個人ファイルなどで確認できるため。 ・服薬やてんかんなどの情報は随時確認し、子どもの様子については随時共有している。 ・面談や保護者からの聞き取りを通して、職員間で共有している。 ・子どもの状況が確認されている。 	ご契約時に服薬やてんかん、アレルギー等を記入していただき、状況等把握した上で支援を行っている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	1	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示書に基づいたアレルギー対応の詳細については把握していないため。 ・医師の指示書ではなく保護者からの申し出て対応している。 ・食べ物を扱うイベント時には特に確認を行い安全に配慮している。 ・医師の指示書による対応機会がない。 	食物アレルギーに関しては保護者からの申告はあるが、医師の指示書をいただいたことはなく、それに基づく対応は行ったことがない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・安全面に配慮した支援は行っているが、安全計画に基づく研修や訓練の実施状況については十分に把握できていないため。 ・感染症や防災など、研修や訓練を行っている。 ・緊急時対応に関する研修は行うが、訓練の機会は少なく感じる。 ・研修機会があるため。 	安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じて支援を行っている。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	2	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画に関する家族への周知状況については、十分に把握できていないため。 ・取組内容について当日参加の保護者にはお伝えしているが、参加のないご家庭には周知が不十分である。 ・家族等への周知はないように感じる。 	安全計画に基づく取組内容について、ご家族への周知は十分ではないため、今後は周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの共有を事業所内で行っている。 ・月1回の会議でヒヤリハットやアクシデントの報告、対策の共有が行われているため。 ・ヒヤリハットが起きた際は文書にし、内容を確認した上で対策を考えている。 ・ヒヤリハットの基準が個人で違う為、件数が少ないと感じる。 ・ヒヤリハットを共有する機会・話し合いがあり再発防止に努めている。 	ヒヤリハットやアクシデントが起こった際は全教室（都内、埼玉含む）で共有している。また、月一回の全体会議で内容について発表し、再発防止に向けた対策を検討、教室内でも検討をしている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止の研修を行っている。 ・虐待防止研修が実施されており、休みの職員にも後日共有するなど研修機会が確保されているため。 ・虐待防止研修を実施している。 ・入社から間もないため、研修はまだ受講できていない。 ・虐待に関する研修が開催されているため。 	虐待防止研修を年に数回行っている。また、研修日が公休だった職員に関しては、別途研修を実施している。

	54	<p>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。</p>	6	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要のある児童に対しては、記載を行っている。 ・虐待防止研修が実施されており、休みの職員にも後日共有するなど研修機会が確保されているため。 ・やむを得ず身体拘束を行う場合があることを説明し、行った場合は状況や様態などを説明している。 ・身体拘束について文書を提示し、保護者に読んでもらった上で同意のサインを得ている。 ・契約時に身体拘束に関する説明と同意を得ているため。 	<p>身体拘束、身体抑制に関しては、契約書・重要事項説明書・個別支援計画書に明記している。また、保護者に十分に説明している。</p>
--	----	---	---	---	---	---	--	--

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コアヴィレッジ芝公園 保育所等訪問支援		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 13日		2026年 3月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2026年 3月 13日		2026年 3月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2026年 3月 1日		2026年 3月 18日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・放課後デイサービス、児童発達支援の事業所があるので、園や学校以外での児童の様子も知ることが出来ること。	・訪問後に児童の様子や情報を共有することで、お互いの立場で児童により必要な支援を考えることができる。	・施設をご利用されている保護者様に、保育所等訪問支援という事業があることを知って頂き、必要があればご利用頂けるようご案内していく。
2	・保育所等訪問支援を始める前から、放課後デイサービスや児童発達支援として地域の園や学校を関係機関連携で訪問しあい情報を共有するなどの取組みを行い、関係を築いていたこと。	・保護者様からご依頼があった時に、いきなり保育所等訪問支援から始めるのではなく、まずは関係機関連携から始めて様子を見る等の段階を踏んだ支援をお勧めすることが出来る。	・放課後デイサービスや児童発達支援の施設をご利用していない児童にも、保育所等訪問支援という仕組みがあることを知って頂けるように、相談支援事業所さんと連携していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保育所等訪問支援を始めたばかりで、今後事例を増やしながら職員が経験を積んでいくこと。	・訪問支援を初めて行う職員もいることや、現場では多岐にわたるスキルが求められているため、職員の研修等研鑽の場が必要になる。	・職員同士が相談し、連携することで支援の質を高めていく。 ・既に実績がある他事業所やセンターからアドバイスを頂き、職員が勉強をして研鑽を積む機会を作る。
2	・保育所等訪問支援自体の認知度がまだ低い。	・児童発達支援や放課後等デイサービスをご利用している保護者様に掲示等でご案内し、必要があれば説明している。園や学校にもこうした事業があり、インクルージョン推進のために活用する方法もあるということを知って頂く機会があるとよい。	・自治体や相談支援事業所とも連携し、必要な保護者様や児童に支援が行き届くようにしていく。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		コアヴィレッジ芝公園 保育所等訪問支援		公表日		令和8年3月31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 ・ 整備 ・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2	0	・訪問先ではまだ教具、教材は使用していませんが用意はしている。	・基本は訪問先にある教具、教材を使用することになると考えますが、こちらでも必要と思われるものは用意しておきます。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	0	・適切な職員人数になっている。	・まだご利用者が少ないので、現在の職員配置は国の基準を守り適正であると考えます。今後ご利用者が増えてきた時点で職員も増員する予定です。	
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	0		・目標設定と振り返りは職員全員が参加しています。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	0	2		・今回は初めての評価表になります。こちらの結果をもとに業務改善を行っていく所存です。	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0		・職員間で話し合いや意見交換をする場を設けております。まだ始まったばかりの事業なので、職員が自由に意見を申し合う雰囲気や大切に業務を進めて参ります。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	2		・現在のところ第三者評価は行っていません。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	0		・全員、事業所で開催する研修(内部、外部)を受講しております。	
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2	0		・今後も面談やアセスメントシートを活用して保護者様のニーズや課題を把握し、訪問支援計画を作成して参ります。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	0		・今後も支援計画を作成する際は職員間で相談し、児童の課題を考え検討して参ります。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2	0		・訪問を始める前に、訪問先施設の先生方と面談を行い、先生方から見た児童の課題等をお聞きして計画に盛り込んでいます。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0		・作成した支援計画はいつでも見れるようになっていて、訪問支援に向う前に支援員は確認しております。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	0		・事業所内にあるフォーマルなアセスメントを活用する他、日々の観察によるインフォーマルなアセスメントも使い児童の状況を適切に判断して参ります。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2	0		・今後もガイドラインに記載されている内容を理解し遵守しながら、計画を作成して参ります。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0		・支援計画は出来上がった時点で職員間で共有しております。訪問支援に向う前にも計画を確認することを習慣付けています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	0		・訪問支援には基本は1で行うので役割分担はしませんが、行う支援内容についてはチームで話し合っていて決めています。他の専門職のアドバイスを仰ぐ必要も出てきます。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	0		・支援終了後には必ず振り返りを行い、職員間で共有することを今後も続けて参ります。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2	0		・訪問を始める前に訪問先の先生方とご相談の場を持ち、訪問先の方針や配慮する点の確認を行っています。	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2	0		・訪問支援の現場で児童の様子を記録し、保護者様に毎回ご報告しています。		

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	0	2		・訪問支援を始めたばかりですが、今後適切なタイミングで見直しを行って参ります。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	0	・児童発達支援管理責任者が参加しています。	・今後も児童発達支援管理責任者と担当者で参加して参ります。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	0		・児童発達支援センターや訪問先の園や小学校と連携しておりますが、今後連携先を増やし地域に根差した体制を整えて参ります。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	2		・訪問支援を始めたばかりなので、移行の案件は今までありませんでした。今後そうした事例があれば対応して参ります。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	0		・訪問支援を開始する前に、既に訪問支援を行っている他の事業所を訪問し、様々なことを教えて頂きました。今後も事業所内研修に参加する他に、外部研修で必要なものがありましたら進んで参加させて頂きます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	0	2		・現在のところ地域の協議会等に参加していません。今後必要があれば考えて参ります。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2	0	・訪問支援終了後に記録をHUGで送っています。	・訪問支援を行った後に、保護者様に状況をお伝えしていますが、保護者様のご要望があればHUGや対面での相談の機会を設定して参ります。
26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	2		・訪問支援を始めたばかりなので、ご家族の参加できる研修や情報提供は行いませんでした。今後、所属の通所事業所の中で行っている研修や企画等に一緒にお誘いするなどを考えております。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	0	・契約時に時間をかけてご説明している。	・今後も保護者様にわかりやすいように丁寧に説明をして参ります。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2	0	・初回支援の前に訪問先にお伺いして、保育所等訪問支援の趣旨や支援の目的についてご説明している。	・保護者様から支援のご依頼があった時は、ご契約の前に訪問先施設をご訪問し、先生がたに趣旨や目的をご説明しています。また先生方の意向も確認させて頂き同意を頂いてから、保護者様とご契約をしています。保育所等訪問支援はまだ認知度が低いと感じています。今後も訪問先施設と良好な関係を築くために、最初のご説明を丁寧に言いご理解を頂けるよう努めて参ります。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	0	・アセスメントシートにご記入頂いたり、面談で意向を確認している。	・面談やアセスメントシートを使い保護者様の意向を確認して、それを訪問支援計画に反映して参ります。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2	0	・保育所等訪問支援計画に同意のサインを頂いている。	・初回訪問の前に保護者様に支援計画をお見せしてサインを頂いてから、初回の訪問に何う流れを続けて参ります。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2	0	・保護者様に訪問支援のご報告をする際にご相談に応じることがある。	・訪問支援を始めたばかりなのでまだ少ないですが、今後も保護者様のご相談には迅速に丁寧に対応して参ります。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	2		・訪問支援を始めたばかりなので、保護者会の開催はまだ考えておりません。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	0	・保護者様に訪問支援のご報告をする際にご相談に応じることがある。	・訪問支援を始めたばかりなのでご相談はまだ少ないですが、体制は整っているので、今後もご相談には迅速に丁寧に対応して参ります。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	0		・通信等は発行しておりませんが、HPでは情報を発信しています。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0		・事務所内の鍵付き書庫で情報を管理しています。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	0		・まだ訪問支援を開始したばかりなので、今後そうした案件に対応して参ります。
37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2	0	・訪問先の先生からの児童の支援に関するご質問にお答えした。先生からもご意見を頂き、意見交換のよい場になっている。	・まだ訪問支援を開始したばかりなので事例は少ないですが、今後そうした案件に対応していけるよう支援員の意識やスキルを高めて参ります。	

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2	0		・訪問支援後に、訪問先の先生方のお時間がある時は簡単に振り返りをする時間を頂いています。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2	0		・毎回、HUGのサービス提供記録で訪問支援のご報告をしています。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0		・事務所の鍵付き書庫にてファイルやPCを管理しています。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2	0		・まだ訪問支援を開始したばかりなので、今後そうした関係が築けるように努めて参ります。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	0	2		・基本的には訪問先にての支援なので、保育所等訪問支援としてはマニュアルを策定していません。所属の事業所にてマニュアルや研修、訓練を実施しています。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	0	2		・基本的には訪問先に向いての支援なので、保育所等訪問支援としては安全計画を策定していません。所属の事業所の安全計画に沿って行動しています。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	0		・まだ訪問支援を開始したばかりなので現在のところはヒヤリ案件は発生していませんが、今後そうした案件が起きたら職員間で共有し再発に向けての取り組みを進めて参ります。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	0		・虐待防止の研修は所属の事業所内で受講しました。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	0		・身体拘束の研修は所属の事業所内で受講しました。

従業員向け	児童発達支援評価表
-------	-----------

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	はい	いいえ
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	1	運動スペースとしてはもう少し広げればよいと思う。	95%	5%
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	3	・ギリギリだと感じることがある ・基礎人員は足りているが、他教室への派遣で職員数が足りなくなることがある。	85%	15%
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	3	・教室のライトが子どもたちには少し暗い場所がある ・玄関、入り口階段については急な階段に下にあり改善が望ましい ・子どもにとって不必要な刺激が多いように感じる。	85%	15%
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	4	・机や椅子が合っていないと感じることがある。 ・机と椅子が子どもに合ったものではなく危険だと感じている。	80%	20%
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	3	・早めに日本橋にあるテントを移したい ・パーティションの活用等を工夫している。できれば、個室がもう一つあればいいと思う。	85%	15%
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	3		85%	15%
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1		95%	5%
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	3	業務改善までつながっているかは不明	85%	15%
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	5	・現状予定はない ・業務改善までつながっているかは不明	75%	25%
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	0		100%	0%
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	2	・まだ公表できていない ・好評がどこまでのことを言っているのか不明なため	90%	10%
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12	0		100%	0%
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	2		90%	10%
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	1		95%	5%
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	0		100%	0%
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0		100%	0%
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	3	・イベントの時はチームで行っているが、日々の支援は個々で行っているため	85%	15%

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	1		95%	5%
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12	0		100%	0%
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	0		100%	0%
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	0		100%	0%
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0		100%	0%
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0		100%	0%
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	1		95%	5%
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	1		95%	5%
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	1		95%	5%
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	3		85%	15%
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	11	1		95%	5%
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	8	事業所が広く周知・理解され、地域との交流を増やしていければと思う。	40%	60%
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0		100%	0%
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	6		50%	50%	
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	5		75%	25%
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0		100%	0%
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12	0		100%	0%
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0		100%	0%
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	12		0%	100%

説明等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	1		95%	5%
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12	0		100%	0%
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0		100%	0%
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0		100%	0%
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	6		50%	50%
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	4		80%	20%
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	4		80%	20%
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	2		90%	10%
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	3	アレルギー児童は把握しているものの、指示書がなかった	85%	15%
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	1		95%	5%
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	2		90%	10%
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0		100%	0%
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0		100%	0%
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	2		90%	10%